

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	情報処理	花田 経子	1 年次	春・秋

授業のキーワード	情報処理、コンピュータ、IT、リテラシー、情報システム
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	短期大学で学ぶ必要不可欠な“情報処理論”について、体系的に学ぶ講義である。情報という言葉の本質的な理解、情報処理の仕組み、情報技術(IT)の構造と役割、ITに基づいた情報システムの社会における役割と活用方法を理解することが目的である。
履修のアドバイス・ 前提科目等	【履修上の注意】講義形式ですが、レポートや課題においてPCの操作を義務付けます。 【履修における条件】本講義では、『PCパス①』と『PCパス②』の取得を義務付けます。単位認定時に、パスがない学生は単位を認められませんので注意してください。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	PC 実習(1)	講義概要・運営方法、短大 PC の利用ルール、新短ネットの利用方法、SNS の仕組み	第 9 講	小テスト②&コンピュータの仕組み(1)	ハードウェアの構造(入力・出力装置)
第 2 講	ミニレポート(1)&PC 実習(2)	電子メールの構造理解、メール初期設定、ネチケット	第 10 講	コンピュータの仕組み(2)	ハードウェアの構造(CPU、記憶装置)
第 3 講	ミニレポート(2)&情報とは何か(1)	情報とは何か、Wikipedia の仕組みから考える情報と IT の関係	第 11 講	コンピュータの仕組み(3)	プログラムとソフトウェア
第 4 講	情報とは何か(2)	情報と情報処理、インフラとしての IT と現代社会の仕組み	第 12 講	小テスト③&コンピュータの仕組み(4)	パケット通信とルーティング
第 5 講	ミニレポート(3)&IT と情報システム	コンビニエンスストアの業務と IT、情報システムとは何か	第 13 講	IT 社会の今後(1)	サイバー犯罪の現状と情報セキュリティ
第 6 講	小テスト(1)&情報技術の基礎理論(1)	デジタルとアナログ、ビットによるデータ表現、情報の単位	第 14 講	IT 社会の今後(2)	今後の IT 社会において必要となる知識と考え方
第 7 講	情報技術の基礎理論(2)	n 進数、基数変換、文字データの符号化	第 15 講	試験 + レポート	第 13 講で課題を呈示し、レポートを定期試験時に提出。定期試験も実施する。
第 8 講	情報技術の基礎理論(3)	画像／音声データの符号化、情報伝達の仕組み(メディアとプロトコル)	評 価 方 法		(1)出席点：30%、(2)小テスト 3 回 & ミニレポート 3 回：30%、(3)定期試験：20%、(4)最終レポート：20%
備 考 (関連する資格・試験等)		<p>☆PC 実習(第 1 講、第 2 講)の際の持ち物：『新短パソコン活用テキスト』、場所は PC 室で実施します。</p> <p>☆担当者メッセージ：Web ページを閲覧しているだけでパソコンを使いこなしている“気”になっていませんか？本当の意味での IT を学ぶ良い機会です。新短の IT 系講義のすべての基礎科目としてしっかり学んでください。</p>			
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
『コンピュータ概論—情報システム入門』、石原秀男・魚田勝臣他共著、共立出版 『新短学園短期大学パソコン活用テキスト』(入学時に配布、PC パスの教科書も兼ねている)			『情報 なぜビットなのか』、矢沢久雄著、日経 BP 社 『コンピュータ なぜ動くのか』、矢沢久雄著/日経ソフトウェア監修、日経 BP 社 『あなたはコンピュータを理解していますか?』、梅津信幸、ソフトバンククリエイティブ		